

25. 昭和62年のこよみ

- 1月13日 笹嶋正氏（参議院決算委員会調査室）、滑川優氏（科学技術庁原子力安全局）見学の
ため来館
- 28日 原爆資料センター研究会
1. 「原爆放射線」 奥村 寛
 2. 「長崎地区原爆被爆者の脾臓腫瘍に関する病理学的検討」 井関充及
 3. 「経時的健診成績を用いた異常傾向の早期発見の手法」 森 弘行
- 2月21日～22日
- 原爆資料センター資料調査部「冬の研修」
- 原爆と新聞—
- (A) 新聞に何が報道されているか
 - (B) 報道は正確か
 - (C) 報道に問題点はあるか
 - (D) 解決できるか
- 3月7日 「原爆資料センター保存資料一覧」完成
- 10日 田中博之氏（大蔵省福岡財務局）他、見学のため来館
- 23日 佐藤正氏、金口泰久氏（文部省学術国際局学術課）見学のため来館
- 26日 苗川博史氏（相模工業大学付属高校教師）他3名、修学旅行の下見のため来館
- 4月27日 前期学生実習（コンピュータ）開始（6月22日まで）
- 5月7日 原爆資料センター運営委員会
1. 昭和61年度事業報告
 - (1) 講演会の開催
 - (2) 「保存資料一覧」の作成
 2. 昭和62年度事業計画
 - (1) 講演会の開催
 - (2) 「長崎原爆研究」の作成
 3. 昭和62年度予算配分案
 4. 助手採用について
 5. その他
 - (1) セミナーの開催
 - (2) 電子計算機利用に伴うプライバシー保護に関する規約の検討
- 15日 井上明俊氏、五十嵐義浩氏（文部省高等教育局大学課）見学のため来館

19日 原爆資料センター・セミナー

「原爆資料の収集と活用をめぐる」

菅原努先生（京都大学名誉教授）

6月7日 第28回原爆後障害研究会（広島）

18日 原爆資料センター研究会

1. 長崎地区原爆被爆者の膀胱悪性腫瘍に関する病理学的検討 （井関充及）
2. 長崎原爆に関する新聞記事の評価 （深掘三八子）
3. 白血球数の長期にわたる変動傾向の統計的考察 第2報 （近藤久義）
4. 原爆被爆者の抜歯資料からの被曝線量推定
（その1—原爆被爆者集団からの抜歯資料の収集） （森 弘行）
5. 被爆者データ表示システムの拡張 （森 弘行）

7月8日 大坂絃一郎氏（文部省高等教育局医学教育課）見学のため来館

28日 原爆資料センター講演会

1. 長崎市のがん登録
原爆資料センター病理部主任
池田 高良 教授
2. 突然変異と発がん
近畿大学原子力研究所（大阪大学名誉教授）
近藤 宗平 教授

30日 原爆資料センター研究会

テーマ：「長崎原爆研究」

発表者：岸川正大，三根真理子，森弘行，近藤久義

8月4日 稲田哲雄氏（筑波大学基礎医学系教授），Ms. Cinthia P. Loch
（JICA 留学生，ブラジル）見学のため来館

8日 在日外国人記者，取材のため来館

S. R. デ・ロイ（インド），ブロンウェン・ジョーンズ（オーストラリア），
ウラジミール・コウチコ（ソ連），他1名

11日 秋葉プロジェクト招待記者（アメリカ）見学のため来館

ロバート・イスラエル，マシュー・デイシー，リー・タダシ・イマダ

9月18日 後期学生実習（コンピュータ）開始（11月20日まで）

19日～20日

原爆資料センター・ワークショップ

「原爆資料センター・その現在と今後」

1. 講話“私の研究と研究生活”
原研遺伝・新川詔夫 教授
2. ワークショップ

長崎原爆研究

- (1) 原爆資料センターの現状
- (2) 原爆を考える（映画上映「予言」）
- (3) 原爆資料センターの今後
- (4) 原爆資料センターの共通課題

- 10月1日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 7日 ゴーティエ・レフラー氏（スイス）取材のため来館
修学旅行生の見学（和歌山県立海南高校より40名）
- 13日 修学旅行生の見学（和歌山県立伊都高校より40名）
- 17日 修学旅行生の見学（和歌山県立田辺商業高校より40名）
- 18日 修学旅行生の見学（和歌山県立橋本高校より40名）
- 20日 修学旅行生の見学（和歌山県立田辺高校より45名）
坂口広志氏，河西愛次氏（文部省大臣官房会計課）見学のため来館
- 29日 修学旅行生の見学（奈良，手塚山中学校より6名）
- 11月5日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 17日 修学旅行生の見学（名古屋，椋山女学園より20名）
- 18日 修学旅行生の見学（名古屋，椋山女学園より20名）
修学旅行生の見学（東京都立武蔵丘高校より46名）
- 19日 修学旅行生の見学（東京都立秋留台高校より40名）
- 25日 修学旅行生の見学（東京都立高江北高校より60名）
- 12月3日 原爆資料センター・スタッフミーティング
- 4日 原爆資料センター講演会（於：長崎県医師会館）
テーマ「21世紀に向けての被爆者医療と医療情報システム」
「これからの被爆者医療研究」
重松逸造理事長（放射線影響研究所）
「医療情報学の誕生とその使命」
開原成允 教授（東京大学医学部）
「人工知能・画像技術等による医療診断システムの新展開」
金子豊久研究所長（日本IBM）
- 21日 新睦会（ポーリング大会）